

集団かぜ発生状況(平成30年1月25日) (NO. 19)

県内の集団かぜの発生状況は、次のとおりです。

1 平成30年1月25日(木)措置分 (初発5施設)
初発施設における措置を取ったクラス等の状況

- (1) 患者数 73 名
- (2) 施設別発生状況 裏面のとおり

2 既発施設における本日の措置状況 裏面のとおり

3 現在までの状況

措置を取ったクラス等の状況

- (1) 在籍者数 2,500 名
- 患者数 1,004 名

注: 在籍者数及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

(2) 発生施設数

措置状況	休校	2 施設
	学年閉鎖	19 施設
	学級閉鎖	37 施設
	計	58 施設

注: 同一施設で措置を変更した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の措置の規模の大きい方に変更してあります。

(参考1)

集団かぜの発生状況は、インフルエンザ様疾患(※)による欠席等により、学級閉鎖等の措置をとった場合の報告です。

※ インフルエンザ様疾患: 38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁若しくは鼻閉、咽頭痛、咳のいずれか1つ以上)を呈した場合をいう。

(参考2)

インフルエンザの予防のために

① ワクチン接種

② 咳エチケット

○咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。

○呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。

○咳をしている人にマスクの着用を促す。

○マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。

③ 外出後の手洗い

④ 室内の適度な湿度の保持(50~60%)

⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

石川県ホームページの「インフルエンザ情報」に、予防情報等を掲載しています。

施設別発生状況

初発施設における本日の措置状況

(平成30年1月25日措置分)

	施設名	所在地	措置を取ったクラスの状況				備考
			学年・クラス名	在籍者数(人)	患者数(人)	措置(期間)	
1	金沢市立新 ^{シタテマチ} 堅町小学校	金沢市新堅町	2年	15	6	学年閉鎖(1/25~26)	2年生は全1クラス
2	石川県立大 ^{ダイショウジツギョウ} 聖寺実業高等学校	加賀市熊坂町	2年1組 2年2組	63	28	学級閉鎖(1/25~26)	2年生は全3クラス
3	金沢市立 ^{モロエマチ} 諸江町小学校	金沢市北安江	6年3組	35	23	学級閉鎖(1/25~26)	6年生は全3クラス
4	金沢市立 ^{イズミノ} 泉野小学校	金沢市緑が丘	5年1組	28	8	学級閉鎖(1/25~26)	5年生は全3クラス
5	羽咋市立 ^{ハクイ} 羽咋小学校	羽咋市中央町	4年2組	33	8	学級閉鎖(1/25~26)	4年生は全2クラス
	計 5施設			174	73		

既発施設における本日の措置状況

区分	施設名
休校(施設)	
学年閉鎖(3施設)	金沢市立菊川町小学校(2年、1年2組)、金沢市立泉小学校(1年、2年)、中能登町立鹿西小学校(1年)
学級閉鎖(11施設)	石川県立金沢伏見高等学校(2年5組)、金沢市立木曳野小学校(2年2組、3年4組)、金沢市立戸板小学校(1年1組、1年3組、3年3組)、能美市立寺井小学校(2年3組、4年3組)、小松市立今江小学校(2年2組)、内灘町立清湖小学校(2年1組)、石川県立輪島高等学校(1年1組)、鶴来第二幼稚園(年長くぬぎ組)、小松市立苗代小学校(5年1組、5年3組)、七尾市立天神山小学校(3年1組)、鵬学園高等学校(1年B組)